



「きたえる」ことの大切さ

校長 入江 やよい

6月になり梅雨が近づいている気配を体感します。先日は、体育大会を行うのにぴったりのお天気のもと、たくさんの保護者や地域のみなさん、来賓の方々においでいただきありがとうございました。

入学・進級して2ヶ月です。子ども達は、「一人でがんばること」「チームでがんばること」「学年全体でがんばること」すべてにおいてやる気いっぱい頑張りをを見せてくれました。集中してがんばるとできるものです。立花っ子の素晴らしさがよくわかる体育大会でした。

今月は、体育大会に関連して「きたえる」ことについて考えてみましょう。「きたえる」ことは、学習や生活などの、すべての意欲を引き出すことに結びつきます。

1. きたえる【鍛える】といえ

(1)「高熱に熱した金属を打って強くする。鍛練する。」

(2)「訓練をほどこして技術を向上させる。」

という意味が主流です。これは、きたえる者ときたえられる者とが努力して、目標や目的を達成するというとても大切な第一段階の「きたえる」です。

例えば、計算を速く正確にするとか漢字をきちんと書く、本読みが上手にできる、文字を美しく書く、運動が上手にできるなどです。その多くは技術の向上と次の課題にチャレンジし意欲を高めるために、とても大切なことです。

この夏にオリンピックが行われますが、きたえられた選手も甲子園の高校野球も先日の体育大会も、見る人に感動を与えます。あらゆるところで働く人、活躍する人は、まわりに「きたえ」られ自分で「きたえ」ることで成長します。お互いの努力・がんばりが必要です。

2. 「きたえる」こと＝「継続すること(自分で進んでがんばること)」

(3)「自分で修練を繰り返して心身や技術をしっかりしたものにする。」

という意味もあります。一つのことをやり遂げると、次への意欲や自信が生まれます。(その時必ず「ほめる」事を忘れてはいけません。絶対にけなしたり、注文をつけてはいけません(途中の「ほめながらのアドバイス」は有効です。)) そうすると、次の「きたえる」ことへのチャレンジを自ら進んで始めることとなります。

例えば、基本的な生活習慣がしっかりついていると、「毎日決まった時間に起きる。」「帰ったら必ず『ただいま』を言う」「寝る前に明日の準備をする」寝る時刻・三食をしっかり食べるなどを、ひとつでもしない日は、妙に気持ちが落ち着かなくなります。

「きたえる」ことをもう一度考えてみましょう。思わぬ力を子どもは持っています。体育大会での子ども達の活躍を思い起こすと**「やっても出来ないはずは無い。やらずに出来るはずは無い」**です。

6月の行事予定

1	土	体育大会
2	日	体育大会予備日
3	月	代休日
4	火	朝会
7	金	眼科検診4、5、6年
10	月	除草週間 委員会活動
13	木	一斉下校(5校時終了後)
14	金	6年社会見学(JT 生命誌研究館)
16	日	書写コンクール席書大会
17	月	クラブ活動
18	火	救急法講習(15:00～16:30)
20	木	引き渡し訓練(5校時終了後)
24	月	クラブ活動
25	火	PTA懇親会(放課後)
27	木	水泳指導開始 一斉下校(予備日)

《水泳指導開始》

6月27日(木)から水泳指導が始まります。自分のめあてに向かってチャレンジしてほしいものです。水泳は全身運動です。十分な睡眠と朝食をとるように家庭では留意してください。また、水泳参加に伴うたくさんの準備物についても、忘れ物のないように確認をお願いします。

《欠席届は連絡帳で》

保護者の方で仕事をされている方も多いと思います。特に朝は何かとお忙しいと思いますが、お子様が病気等で欠席の場合は、必ず担任への「欠席届」をお願いします。欠席届はできるだけ連絡帳をお願いします。

《手洗い、うがいの徹底を!》

立花小学校では、手洗い、うがいの指導をしています。ご家庭でも外遊びの後、手洗い、うがいなどをさせて下さい。ハンカチ、ティッシュ、マスクなどの持ち物も忘れないよう、ご協力下さい。もうすぐ梅雨入りです。衛生面には十分ご注意下さい。

〈7月の主な行事〉

3日(水)～5日(金) オープンスクール

4日(木) 立花まつり

5日(金) 学級懇談会

16日(火) 給食最終日

19日(金) 終業式

【生徒指導だより】(文責 志水)

今年度も、生活チェックノートの点検、および「親から子へ」の記入、本当にありがとうございます(1年生は今月から開始します)。保護者の皆様の励ましの声が、子どもたちのエネルギーになっていることと思います。

「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣はもう定着したでしょうか。これが1つでも欠けてしまうと、集中して学習に取り組んだり、友達と元気に遊んだりすることができません。元気で気持ちよい一日を送ることができるよう、ご家庭でも声かけをお願いいたします。